

1. 応募の動機・理由を簡単にご記入ください。

昨年度、京都市立高倉小学校が助成を受け、「京町家に学ぶ快適な住まい方」の授業実践を行った。教材の整備や、京町家の見学体験で、京町家再生研究会（NPO 法人）と連携し、協力を得て活動を行ってきた。今後、これを一般化させるために、まず、京都市内の学校でも実践できるように、指導者向けの「京町家に学ぶ住育指導ガイド」の作成が必要ではないかと考えている。建物の構造や歴史的背景を知ること、そこに住まいしてきた人の知恵や工夫、現代の都市や住宅の抱える問題を解決するためにヒントをみちびきだす、価値ある教材としての京町家を取上げ、指導ガイドを作成することによって、自信と理念をもって、子供たちに住育を届けることができると確信している。

2. 学習予定の概要を以下の3点について記入してください。

(A 中心となる活動, B 授業の狙いと特徴, C 学習の流れ (指導計画))

A 6月と11月に京町家の見学体験を通しての、快適な住まい方の授業実践を行う。その際に、指導者として、何を事前に教材研究しておきたいかインタビューを行う。これまでの授業実践を重ねて、専門家（京町家再生研究会）の協力を得て、指導ガイドを作成する。夏と冬の2つの季節の快適な住まい方の授業実践を行うが、6月の授業では、昨年の実績をふまえて、必要な情報の洗い出しを行う。秋から冬の授業に向けて、指導ガイドを作成し、それをもとに冬の授業実践を行う。

B 京町家に住まう工夫をもとに、現代の夏の快適な住まい方の工夫を導き出す。見学体験やインタビューの中で子供の着眼点や発言から、教材として取り上げる素材を子ども目線でもよりわかりやすいようにまとめ、京町家カードを見直すとともに、指導者として必要な情報を精選し、指導ガイドの作成にあたる。

C 6月～7月「すずしい住まい方～マイさわやかプランをつくろう」

京町家の見学体験 ※指導者と子供へのインタビューとアンケート調査の実施

↓

すずしい住まい方の工夫

↓

京町家の工夫をマイさわやかプランに生かそう

7月～10月 「京町家に学ぶ住育指導ガイドの作成」

11月～12月「あたたかい住まい方～マイほかほかプランをつくろう」

京町家の見学体験 ※指導ガイドをもとにした授業実践

↓

あたたかい住まい方の工夫

↓

京町家の工夫をマイほかほかプランに生かそう

その他特記事項がありましたらお書きください

京町家を取り上げての住育の授業実践については、京都市教育委員会・京都市住宅政策局の協力も得て進めてきた。今後は、この指導ガイドをもとに、京都市全域の子供たちが、住育を行うことにつながる。この実践は、全国各地の気候風土にあった住宅様式にも応用転移し、自分たちの身近な住環境に目を向けながら、実態に沿った住育の環境を整えてことにつながるのではないかと考えている。

※複数枚になってもかまいません。

※他に添付資料がありましたらお付けください。